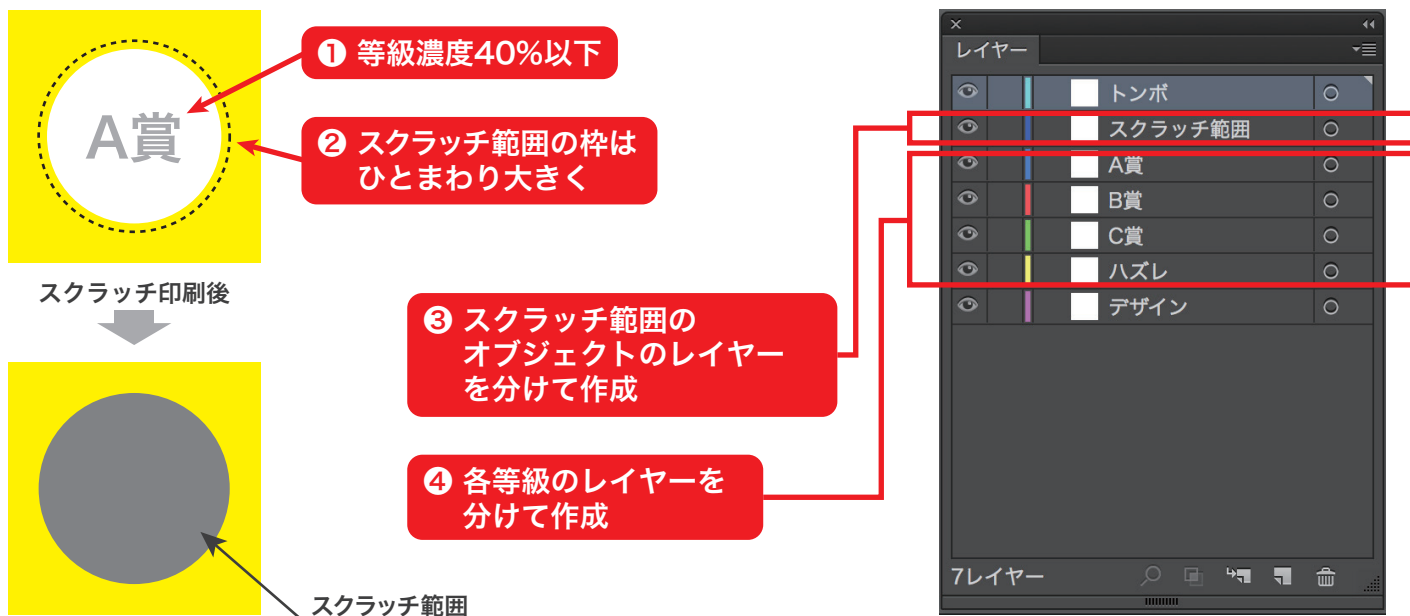


シルバースクラッチ制作の手引き

データ作成・入稿の前に必ずご確認ください。

- ① スクラッチ内部の等級濃度は、40%以下で作成されている
※1色の場合は40%以下、2色以上の場合は掛け合わせで、各色濃度の合計が40%以下
(掛け合わせ例: マゼンタ 20% + イエロー 20%)
- ② スクラッチ範囲は枠よりひとまわり大きく作成している
※上下左右それぞれ0.5mm以上
- ③ スクラッチ範囲のオブジェクトのレイヤーを分けて作成している
- ④ 各等級のレイヤーを分けて作成している



その他 注意事項

■ シルバースクラッチ部分のウラ面のデザインについて

<両面印刷の場合>

スクラッチ部分の真裏に当たる箇所は、極力スミなど低明度のベタ印刷を入れることを推奨致します。

ウラ面の印刷が薄い濃度だったり、空白となっている場合は、光源にかざすとスクラッチ内部が透けて見えます。決して透けて見えてはいけない場合は、シルバー2パス*仕様をお願いしております。

<片面印刷の場合>

片面印刷の場合、ウラ面は全て白い状態になってしまいます。光源にかざした際の透けを防止する場合は、等級濃度変更(30%以下)とシルバー2パス*仕様をご相談させていただきます。(2パス*の場合、別途お見積もり致します。)

■ デザイン内容の文言

「平らな台の上でコインでかるくけずってください」といった文言を入れることをおすすめします。

※ツメなどで削ろうとしたり、柔らかい物の上で削ろうとすると、うまく削れずトラブルの元となります。

■ シルバー部分の形

シルバースクラッチの形状は自由に作成いただけますが、あまり複雑な形状は再現できないため、おすすめしません。丸、四角、三角、星形、ハート型などといった形は可能です。



※「2パス」とは、シルバー印刷を2度印刷することです。コストは上がりますが、隠蔽度を高めることができます。

「1パス」は、シルバー印刷を1度印刷することです。通常の使用状況下では問題なくご使用いただけますが、蛍光灯や携帯電話カメラのライトのような光源にかざすと、スクラッチ内部が透けて見えます。